

二〇〇八番

ぬばたまの 夜霧よぎりに隠こもり 遠とほくとも 妹いもが伝つたへは
早はやく告つげこそ

二〇〇九番

汝なが恋こふる 妹いもの命みことは 飽あき足だらに 袖そで振ふる見みえ
つ 雲くも隠がくるまで

二〇一〇番

夕星ゆふつうも 通かよふ天あま道ぢを 何い時つまでか 仰あふぎて待またむ
月人つきひとをとこ